



竹島潟が、  
すげえすげえ！  
では本題に…。今  
回は秋田の南の国、  
松尾芭蕉「奥の細道」  
にも登場する秋田県  
由利郡の象潟（きさ  
かた）周辺の釣り場  
へご案内します。こ  
の地方は秋田では

一番の温暖の地で、桜の開花も一  
番、水解けも一番だ。もちろん野  
釣りの開幕もトップで、気の早  
い釣り人は1月でも水解けをみる  
と竿を出しますが、2月下旬か  
ら本番を迎えます。ここではその  
隣の金浦町（このうら）に点在  
する釣り場にスポットをあてまし  
よう。

「備えあれば憂いなし」の格言をふ  
まえ、思わず自然災  
害適用の建物共済に  
加入しちゃいました。  
自然とは不思議なも  
ので、一方では不作  
で困っているが、今年  
は当地の「キノコ」  
が大豊作の兆しあり。  
今期は9月に入るや  
多種のキノコが出始  
め、山菜採りが大好  
きの我が夫婦は「キ  
ノコ狩りに無我夢中  
の今日この頃です。」

白瀬南極探検隊記念館（01  
84・38・2300）がある  
「竹島潟」それに「岩瀧」、勢至  
公園池」と車で数分で3カ所を回  
ることができですが、今回は今一  
番ホットな「竹島潟」をご紹介します。  
秋田の各愛好会では初春の例会場  
所として3、4月の日曜日は大賑  
わいでしたが、ご多分にもれずこ  
の沼にもトラックバスが確認され  
た頃からジャミサワリもなくなり  
ヘラブナも極端に貧弱果となり、  
近年は例会開催の愛好会も激減し  
ていました。

ところが、突然この夏に、当地  
の釣り人の伊藤君から「竹島潟が  
すげえすげえ！ 1時間もエサ打  
ちしたら、突如ウキの周りから  
泡・泡・泡踊りが始まった途端に  
尺上のへらが入れバクになり、そ  
れも強烈な引き味！」と興奮度が  
伝わってくるような一報が入った  
のが8月14日の出来事でした。  
さっそく当店の「モードメール  
で発信したら、最近仕事で疲れ気  
味でストレスがたまっていたS氏が

自分が釣行したのは9月11日。  
メンバーは、関東から来秋の我が  
愛弟子の回遊魚の岡ちゃんに毎日  
サンデーの小野ちゃん、自称  
「我らヘラブナのジャニーズ」とい  
っている当店の若者達5名様。クラ  
ブですらりと並んで入釣した。小  
1時間も経過したところから我がウ  
キは頻りに動き始めたがモエビの  
入れ喰い。

そうこうしてる間に、右端の伊  
藤ちゃんも竿をよ志13尺が池に  
絞りこまれた。同時にこれまた真  
向かいの竹馬が満月の弧を描いて  
「わー引きがいいやあ」と大威張  
り。相変わらず我が銘竿の竿春は  
穂先もヒクともしないモエビだけ。  
そこで遊魚得意の十八番「移動  
作戦」開始！ とところが前日にキ  
ノコを採りすぎて、山からスツス  
リと重いリュックを背負ってきた  
のが原因で動けないほどの腰痛で、  
若者達に道具を運んでもらい釣台  
までセッティングの殿様釣りとさ  
たまんだ（こ迷惑！メメン）。

自分が釣行したのは9月11日。  
メンバーは、関東から来秋の我が  
愛弟子の回遊魚の岡ちゃんに毎日  
サンデーの小野ちゃん、自称  
「我らヘラブナのジャニーズ」とい  
っている当店の若者達5名様。クラ  
ブですらりと並んで入釣した。小  
1時間も経過したところから我がウ  
キは頻りに動き始めたがモエビの  
入れ喰い。

自分が釣行したのは9月11日。  
メンバーは、関東から来秋の我が  
愛弟子の回遊魚の岡ちゃんに毎日  
サンデーの小野ちゃん、自称  
「我らヘラブナのジャニーズ」とい  
っている当店の若者達5名様。クラ  
ブですらりと並んで入釣した。小  
1時間も経過したところから我がウ  
キは頻りに動き始めたがモエビの  
入れ喰い。

日本海に沈む夕陽は天下の絶景  
です。その夕陽を温泉につかりな  
がら眺められる、国道7号線の象  
潟町の駅「ねむの丘」(01  
84・32・5588)へは車で  
10数分(このレストランも美味  
しいよ)。また観光にも最適です。  
さらにお泊まりは、海の幸を思う  
存分満喫できる、仁賀保町の旅館  
「一期一会」へは5、6分です。

過ぎると、もうどうにも止まらな  
い。の入れバク状態で珍しく陽  
が暮れるまで遊んでしまいました。  
釣り方は、竿は13尺前後で宙釣  
りがベターでしょう。エサは両タ  
ンゴやグルテンのセット釣りが良  
いでしょう。自分は両タンゴをや  
ってましたが、型がひとまわりい  
いような気がしてました。体長は  
27、36cmクラスが主力ですが、引  
き味は最高です。

ビックリしたことはジャミ(ク  
チボソ・モエビ)が復活したこと。  
バスの天敵モズクガニが棲息して  
いるからでしょうね。自分の知り  
得る限りでは、モズクガニの棲息  
している湖沼ではバスが増えない  
し、ジャミが生きのびてますね。  
カニさんがバスの卵を食べると聞  
かされておりますが…。その方面  
に詳しい方がおられましたら教え  
て下さい。今当地秋田の湖沼では  
稀刺りが終わると本格的にバスの  
駆除が始まるようです。

# 北の道先案内人 とがし遊魚がいく! 鮎温泉 食の旅

「竹島潟」完全復活!!  
秋田県金浦町

